

旧勝田郡役所庁舎



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうかつたぐんやくしよちょうしゃ
所在地	勝央町勝間田
指定年月日	平成28年11月29日
解説	<p>旧勝田郡役所庁舎は、出雲往来勝間田宿の旧脇本陣の敷地に建つ。明治45年(1912年)4月に竣工したが大正15年(1926年)に廃庁し、昭和17年(1942年)には勝田地方事務所として再利用され、翌年に正面東の建物が北に5間増築される。昭和29年(1954年)の勝央町誕生により勝央町役場として利用され、昭和57年(1982年)の新庁舎建築に伴い廃庁となる。翌年、室内を展示用に改修して勝央町郷土美術館として開館し、平成14年度末(2003年)まで利用される。木造二階建の洋風建築で、寄棟式の屋根に棧瓦を葺く。正面中央の玄関上部を塔屋とし、その背後から西寄りのみを二階建てとして、2階に議場を配す。議場は、幅広の格天井を張る様子が良く残る。塔屋の屋根はカラスステンレス板で葺かれており、いるが、本来は天然スレート葺きであった。軒先には千鳥破風のペディメントを配するなど、細部意匠も凝った一面を見せる。庁舎の外壁は下見板張、腰部を豎羽目板張としてアクセントをつける。岡山県では唯一残された郡役所であり、地方における行政庁舎の近代化の様相を示す建造物として貴重である。</p>
アクセス方法	JR姫新線勝間田駅から徒歩7分、中国道勝央ICから車で5分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> トイレ  駐車場  </div>
備考	